

# 山形県の一体的実施

平成25年7月1日事業開始

「山形県若者就職支援センター」(県)及び「山形県求職者総合支援センター」(県)に「ハローワーク」(国)が有する職業紹介機能を付加し、「トータル・ジョブサポート山形」(山形県・ハローワーク共同就職支援センター山形)として一体的に運営し、就職支援の機能強化を図る。

## 山形県

就職活動支援、カウンセリング・セミナーの実施、公営住宅に関する情報提供・生活福祉資金貸付制度の相談等



## 国

職業相談・紹介、個別求人開拓など

### ① 事業内容

- ・利用者の利便性を高めるためワンストップ相談窓口(総合相談窓口)を設置
- ・「チーム支援」を通じた利用者に対する一貫した就職支援を実施

### ② 協定・事業計画

- ・山形県知事と山形労働局長の間で協定<sup>(※)</sup>を締結
- ・県、労働局、労使等で構成する「運営協議会」を設置し、アウトカムを含む事業計画を策定

\* 協定の実施について相互に要望することができ、当該要望には誠実に対応する旨を規定

### ③ 運営協議会

- ・山形県商工労働観光部長、山形労働局職業安定部長、山形県中小企業団体中央会副会長、日本労働組合総連合会山形県連合会事務局長を構成員とする運営協議会を設置。

山形県とハローワーク(国)が連携し、45歳未満の若年者、生活困窮者及び震災避難者に対して就職支援をワンストップで行う。

## (1) 実施体制

### 山形県

#### 山形県若者就職支援センター

- ・センター長 1名
- ・山形プラザ長 1名
- ・キャリアカウンセラー 2名
- ・コーディネーター 1名

#### 山形県求職者総合支援センター

- ・生活就労相談員 3名

### 国

#### ハローワーク山形(プラザ)

- 職員・相談員 4名
  - ・職業相談部長 1名
  - ・就職支援ナビゲーター 2名
  - ・職業相談員 1名
- ハローワークシステム  
窓口端末3台を設置

## (2) 事業目標と取組状況

|               | 25年度事業目標<br>(25年7月～26年3月) | 取組状況<br>(25年10月末現在) |
|---------------|---------------------------|---------------------|
| チーム支援<br>対象者数 | 90 人                      | 7月～10月 41 人         |
| 就職者数          | 35 人                      | 7月～10月 32 人         |

# チーム支援による就職成功例

男性：40代前半      希望職種：IT関係（管理・営業）  
直近の状況：帰省による離職

## ① 抱える課題等

- 県外で就労していたが、親元にもどるため離職（山形の労働市場について理解が浅い）。
- IT関連の営業経験を活かし求職活動を実施したが採用に至らず、職種転換について迷っていた。
- 希望する職種の求人は若年層限定のものが多く、希望条件が合致しても応募できない。

## ② 支援内容のポイント

- ◆ 若者就職支援センターにおいて適職診断を実施し、本人に自身の適性を認識してもらうとともに職業理解を促した。
- ◆ ハローワークにおいて、不採用となった応募書類の分析を行い添削指導を実施。
- ◆ 職業選択にあたって、職種の優先順位を明確にしたところ、これまでの経験を活かせる仕事を中心に応募活動を実施することとした。あわせて、山形の労働市場の現状を説明した。
- ◆ 職業紹介時においては求人の年齢制限にこだわらず、豊富な経験と仕事への情熱をメインにPRすることとし、応募書類作成・面接対策の支援を実施した。

## ③ 結果

◎ 病院のコンピュータシステム運用管理業務で正規採用

※支援期間 1か月半（相談回数 20回）